



心の天気（自己紹介）



ねらい

学習の雰囲気づくりをしながら、ものの見方・考え方の多様性を尊重しあうことの大切さについて気付きます。

◇時間◇	10分	◇人数◇	1グループ4・5人
◇準備物◇	なし		

展開

- 4、5人のグループをつくります。
- 自己紹介の仕方について説明を聞きます。
【やり方】
① 名前を伝えます。
② 「今の気持ち」を天気（心の天気）に例えて発表します。そして、理由も付け加えます。
- 自己紹介の例を聞きます。
（例）私は栃木太郎と言います。今日の心の天気は晴れです。その理由は、今日の夜に小学校の時の同窓会があり、今からわくわくしているからです。
- グループの中で順番に、「心の天気」を発表しながら自己紹介をしていきます。
- 「心の天気」が全員同じだったグループは挙手します。
- メンバーそれぞれの「心の天気」を聞き合った感想を全体で発表し合います。

言葉かけの例 等

今からグループをつくります。近くのひとと4人グループをつくりましょう。

今からグループで自己紹介をします。自己紹介といってもただの自己紹介ではありません。今回は自分の名前を言った後に、今の「心の天気（空模様）」と「その理由」も発表してください。

例えばこのようにお願いします。私は栃木太郎と言います。今日の心の天気は晴れです。理由は、今日の夜に小学校の時の同窓会があり、今からわくわくしているからです。どうぞよろしくお願いします。

それでは、私に近い（距離）人から時計回りに自己紹介をお願いします。早く終わったグループの人は自由に話してください。

「心の天気」が全員同じだったグループはありますか。あったら、手を挙げてください。（もしあった場合）理由も同じでしたか。

みなさんの「心の天気」を聞き合う中で、今回、気付いたことを発表し合いましょう。

気付いてほしい人権教育のポイント

学習者の朗らかな表情の内側には様々な心の天気（空模様）があり、その理由も学習者それぞれです。本活動をとおして、「心の天気」や「その理由」を聞き合う中で、学習者それぞれの違い（個性等）があることに気付くとともに、それらの違いを認め、尊重しあうことの大切さやその雰囲気の心地よさに気付いていきます。



共通点を探そう



ねらい

互いの共通点を探す活動をとおして、相手への関心や理解しようとする意欲を高め、温かな学習の雰囲気をつくります。

◇時間◇	10分	◇人数◇	2人組
◇準備物◇	メモ用紙、筆記用具		

展開

- 1 2人組をつくり、自己紹介をします。
- 2 2分間、話をしながら2人の共通点を探し、メモします。
(例)・外見に関すること
・趣味、嗜好に関すること 等
- 3 見つけた共通点の数を発表します。
※さらに、人数や時間を増やして、グループの共通点探しにも発展できます。
- 4 見つけた共通点について、2分間程度、2人で自由に話をします。
- 5 共通点が見付かったときは、どのような気持ちでしたかを考えます。

言葉かけの例 等

2人組をつくってください。
はじめに、お互いの自己紹介をしましょう。

今から2分間、2人で話をしながら、共通点をできるだけたくさん見付けましょう。
目に見えるもの、見えないもの何でもOKです。
見付けたら、メモに記録してください。20個を目標にがんばりましょう。
では、始めます。よーい、スタート。

何個の共通点が見付かりましたか。
どんな共通点がありましたか。
一番多かったペアに、大きな拍手をお願いします。

見つけた共通点について、2人で自由に話をしてみてください。

共通点が見付かったときは、どのような気持ちでしたか。
活動の前と比べて、気持ちの違いはありますか。

気付いてほしい人権教育のポイント

共通点を探そうとすることで、相手への関心や相手を理解しようとする意欲が高まります。さらに、互いの共通点を知ることは、相手との距離を縮め、親近感や連帯感を高めることにもつながります。共通点がたくさんあることに気付くことは、互いの違いや多様性を受け入れるための素地になるでしょう。



伝える・受け止める



ねらい

同じように伝えつもりでも、人によって受け止め方は様々であり、ものを伝える時には相手の立場に立って考えることが大切であることに気がきます。

◇時 間◇	10分	◇人 数◇	何人でも
◇準備物◇	A4サイズの内紙1人1枚		

展 開

- A4サイズの紙を受け取ります。
- 目を閉じた状態で、ファシリテーターの指示を聞き、そのとおりに作業をします。

【やり方】

 - 紙を半分に折ります。
 - 右上をちぎります。
 - また、紙を半分に折ります。
 - 右下をちぎります。
 - また、半分に折ります。
 - 左下をちぎります。
- 目を開き、開いた紙を近くの人と見せ合います。
※ファシリテーターは穴の開いていない紙、穴が1つ、2つ、3つの紙等があることを全体に示します。
- 感想を発表し合います。
※ちぎり方にも着目してもらうように説明します。
- 今回、どのようなことに気を付ければ全員に同じように伝えることができたか考えます。
(例)・紙の持ち方(縦長か横長か)
・折り方(縦に折るか横に折るか)
・ちぎり方(どのくらいの大きさか)等
- 活動のふりかえりをします。

言葉かけの例 等

今から紙(A4サイズの用紙)を配ります。

これから、私が指示を出しますのでみなさんは、目を閉じたままで、そのとおりに作業をしてください。

まずは、紙を半分に折ってください。そのまま、その紙の右上をちぎってください。また、その紙を半分に折ってください。次に、その紙の右下をちぎってください。さらに、また、紙を半分に折ってください。最後に、その紙の左下をちぎってください。

では、目を開きながら、作業した紙を開き、近くの人と見せ合ってみてください。

みなさんの作業したそれぞれの紙を見て、どう思いましたか。

今回、私はどのような言い方をすれば、みなさんに同じように伝えることができたと思いますか。

活動をとおしてどのようなことに気がきましたか。

気付いてほしい人権教育のポイント

同じ指示を聞いても受け止め方はそれぞれ様々で、私たちの認識にも違いがあります。人に何かを伝えるときには、相手の立場に立って考えることが大切であることに気付いていきます。



みんな違って みんないい



ねらい

メンバーそれぞれの思いの違いについて気付くことで、多様な考え方を認めあおうとする雰囲気をつくります。

◇時間◇	15分	◇人数◇	1グループ4・5人組
◇準備物◇	なし		

展開

- 1 ファシリテーターが「お題」を決め、参加者はその言葉からイメージするものを発表します。
(お題の例)「栃木県と言えば？」
(答えの例)いちご、とちまる、日光、雷…

※「お題」の内容について、他に食べ物、人物、季節などもよいでしょう。また、学習者が楽しい気持ちになるような「お題」にします。

- 2 今度は、同様に、グループの中で一人が「お題」を決め、それぞれイメージするものを決めます。その後、イメージしたものとその理由を一人ずつ順番に発表し合います。
一回り終わったら、別の人がお題を決め、繰り返します。

- 3 活動のふりかえりをします。

言葉かけの例 等

今から、私がみなさんに「〇〇と言えば…」というようなお題を出します。みなさんは、そのお題を聞いて、何をイメージするか考えてください。

では、今、イメージしたものとその理由を発表してもらいます。(学習者の何人かに意見を聞きます。)

それでは、今度は、グループのメンバーで誰かがお題を決め、先ほどと同様に何をイメージしたか、イメージしたものとその理由を一人ずつ発表し合ってみてください。お題を決める際には、これからみなさんと一緒に活動をしていくので、是非、みなさんが楽しくなるようなお題にしてください。一回りしたら、別の人がお題を決めます。それを繰り返し、全員の発表が終わり、時間に余裕があるようでしたら、グループの中で出てきた話題についてフリートークをしてください。

この活動をとおして、みなさんはどのようなことを感じましたか。グループのメンバーと少し話をしてみてください。(余裕があれば、何人かに発表してもらいます。)

気付いてほしい人権教育のポイント

自分でイメージしているものでも、周りにいる人たちも同じイメージをもっているとは限りません。この活動をとおして、メンバーそれぞれの思いの違いに気づき、お互いの考えを認めあうことができるような雰囲気をつくります。



パチパチ！！ルーレット



ねらい

活動をとおして、和やかな雰囲気をつくりながら、一人一人の存在の大切さや協力することの心地よさに気付きます。

◇時 間◇	10分	◇人 数◇	5人以上
◇準備物◇	音が出せる物（笛など）		

展 開

- 1 ファシリテーターを中心に、全員で円をつくりま
す。（立っても、座ってもどちらでも大丈夫です。）
- 2 時計回りで、1人ずつ順番に胸の前で両手を叩い
て「パチン」と音を出します。まずはゆっくりとし
た速さで叩きます。
- 3 展開2と同じ要領で手を叩きますが、隣の人が叩
いたら、間髪を入れずに叩きます。
- 4 展開3と同じ要領で手を叩きますが、途中の笛の
合図で反対回りにします。
※さらに、スタートを2人にして行うこともできま
す。（2つの音の波ができます。）また、手を叩く
ことに代えて、足を踏み鳴らすことでも可能です。
- 5 活動のふりかえりをします。

言葉かけの例 等

私を中心に、全員で1つの円をつくっ
てください。
お隣との間隔は、手をつなげる程度
で、均等になるように並んでください。

時計回りで、順番に1人ずつ胸の前で
両手を叩いて「パチン」と音を出しま
す。
うまくいくと、きれいに連続した音が
聞こえます。まずは、「パチン・パチン
・パチン…」とゆっくりとした速さで叩
いて、練習しましょう。
〇〇さんから、〇周してみましよう。

今度は、隣の人が叩いたら、間髪を入
れずに叩いて、「パチパチパチパチ…」
ときれいに音を連続させてみましょう。
〇〇さんから、〇周してみましよう。

今度は、私が途中で笛を吹きます。
聞こえたら、反対回りにしてくださ
い。

きれいに連続した音になった時は、ど
のような気持ちでしたか。
どうしてうまくいったのでしょうか。

気付いてほしい人権教育のポイント

集団で同じ目標をもって活動できるので、思いを合わせて成功させたときの喜びを共有することができます。さらに、互いに相手のことを考えながら、集団の中での役割を果たすことで、一人一人の存在の大切さや、協力することの心地よさに気付きます。



便利な文房具



ねらい

自分が便利だと思う文房具を紹介することとおして、学習者同士の親睦を図りながら、互いを理解しあうことの大切さについて気付きます。

◇時間◇	15分	◇人数◇	1グループ4～6人
◇準備物◇	ワークシート		

展開

- 4人から6人のグループをつくります。
- 各自で、ワークシートをもとに、便利だと思う文房具ベスト3を決めます。
【文房具】
・のり・クリップ・修正テープ・定規・消しゴム
・セロハンテープ・はさみ・油性ペン・輪ゴム
・ホチキス
- グループで自己紹介をしながら、各自が選んだ文房具とその理由を発表します。
- それぞれの発表について、他のメンバーが「私も〇〇は便利だと思う。なぜなら〇〇〇だからです。」と理由を付け加えて、発表者に対して言葉かけをします。
- グループの中で話題になったことについてもっと話をして、親睦を深め、活動についてふりかえります。

言葉かけの例等

これから4人のグループをつくっていきます。

次に、ワークシートを見てください。ワークシートには10個の文房具が載っています。これらの文房具の中から、自分が便利だと思う文房具を3つ選び、丸で囲んでください。

グループごとに、自己紹介をしながら、ワークシートを利用して選んだ文房具とその理由について発表してください。では、私に近い人（距離）から順に始めてください。

全員が発表し終わったら、今度は、最初に発表した人が選んだ文房具の中の1つについて「私も〇〇は便利だと思う。なぜなら〇〇〇だからです。」と理由を付け加えながら肯定的に言葉かけをしてあげてください。1人目が終わったら、2人目、3人目と続けてください。

グループで話題にあがったことについて自由に話してください。縁あって同じグループになった人たちですから、それぞれの個性や思いなどに気付けるとよいですね。最後に、便利な文房具紹介をおして感じたことを伝え合いましょう。

気付いてほしい人権教育のポイント

普段利用している便利だと思う文房具の紹介をきっかけに、学習者同士が互いの日常の様子や趣味、個性など、いろいろな方面から相手のことを理解します。積極的に人を理解するということは、豊かな人間関係を築く上での重要な要素になります。

便利だと思う文房具を3つ選び、丸でかこみましょう。

• のり



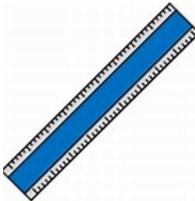
• クリップ



• 修正テープ



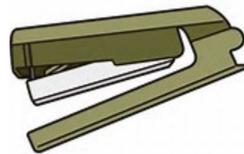
• 定規



• セロハンテープ



• ホチキス



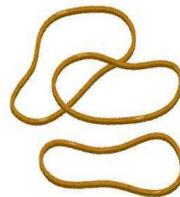
• はさみ



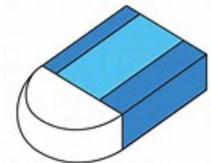
• 油性ペン



• 輪ゴム



• 消しゴム



【メモ】（選んだ理由）